



2011年3月期 決算説明

2011年5月11日



古河スカイ株式会社



＜本日の内容＞

1. 2011年3月期(2010年度)決算概要
2. 2012年3月期(2011年度)業績見通し
3. 中期経営計画達成に向けて
～重点施策の進捗状況～



1. 2011年3月期(2010年度) 決算概要



2010年度 決算のポイント

■前年比 増収増益

売上高、売上数量(個別)ともに前年比約12%の増

営業利益は前年比プラス117億円

- ・液晶・半導体製造装置等 設備投資が好調、厚板が通期で堅調に推移
- ・海外マーケット好調により輸出増加

■持分法適用会社が経常利益寄与始める(3.5億円)

■当期純利益で法人税等調整額を約29億円計上(連結)

■東日本大震災の影響

- ・当社および当社グループの生産拠点において、一部建屋と生産設備等が軽微に損傷するも、早期に復旧し通常操業。
- ・特別損失1.6億円計上



2010年度業績(対前年度)

<連結>

(単位:億円)

	09年度 (A)	10年度 (B)	増減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高	1,856	2,072	216	11.6%
営業利益	6	123	117	1,950%
経常利益	▲7	117	124	－
当期純利益	▲8	120	128	－

<個別>(ご参考)

(単位:億円)

	09年度 (A)	10年度 (B)	増減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高 (数量)	1,607 (388千トン)	1,812 (435千トン)	205 (47千トン)	12.8% (12.1%)
営業利益	0	102	102	－
経常利益	▲9	92	101	－
当期純利益	▲5	103	108	－

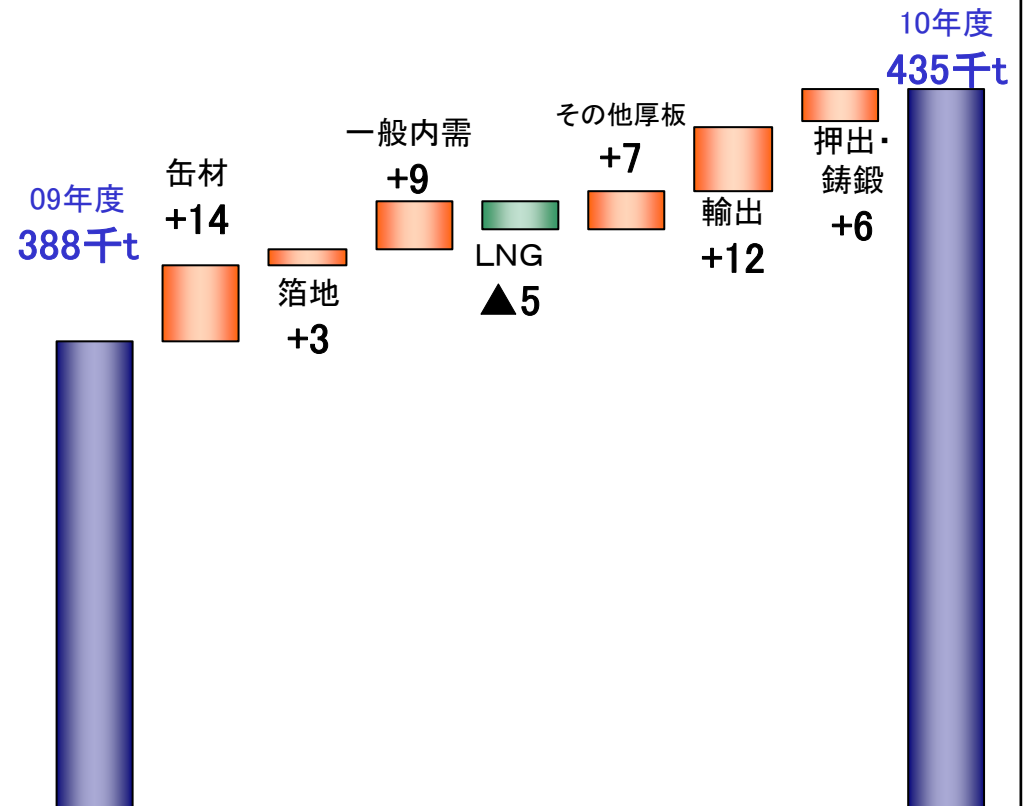


2010年度 品種別売上数量比較(対前年度)

(単位:千トン)

品 種		09年度	10年度	前期比(%)	
板	缶 材	113	127	112	
	箔 地	33	36	109	
	一 般 内 需	115	124	108	
	厚 板	LNG	5	0	-
		その他	21	28	133
	輸 出	69	81	117	
計		355	395	111	
押 出 計		32	38	119	
鑄 鍛 計		2	2	100	
総 合 計		388	435	112	

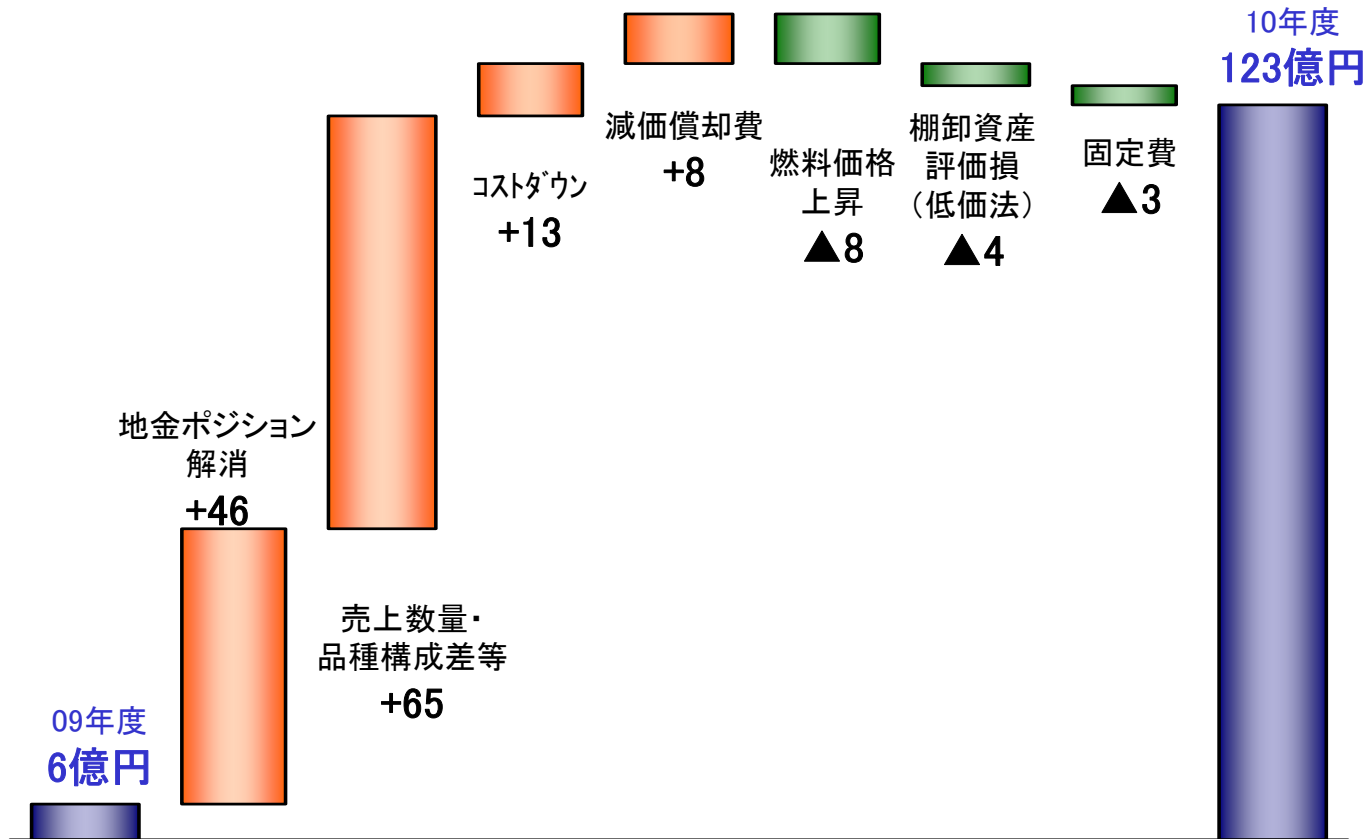
10年度売上数量増減内訳(対前年度+47千t)





連結営業利益分析 (09年度→10年度)

09年度→10年度連結営業利益 増減内訳 (117億円)





貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	10/3末	11/3末	増減		10/3末	11/3末	増減
流動資産	892	1,127	235	流動負債	857	882	25
現金・預金	42	47	5	*2 支払手形・ 買掛金・ 未払金・未払費用	518	550	32
受取手形・ 売掛金	583	582	-1	短期借入金・一年以 内返済長期借入金・ 社債	328	309	-19
棚卸資産・ 前渡金	210	252	42	その他	11	23	12
その他	58	*1 246	188	固定負債	549	598	49
				長期借入金・社債	404	460	56
固定資産	1,109	1,051	-58	その他	145	138	-7
有形・無形固定資産	1,002	913	-89	自己資本合計	591	694	103
投資その他の資産	107	138	31	少数株主持分	5	5	0
資産合計	2,002	2,179	177	負債・総資本合計	2,002	2,179	177

*1 現先等での運用資産176億円含む

*2 電子記録債務を含む



NET有利子負債

(単位:億円)

	09年度 (a)	10年度 (b)	増減 (b)-(a)
有利子負債	732	769	37
現預金等	42	223	181
NET有利子負債	690	546	▲144

<手元資金増加理由>

- ・今後の成長資金への備え
- ・有利子負債水準は諸経済状況を考慮(東日本大震災影響等)



連結主要経営指標

	09年度	10年度
売上高営業利益率	0.3%	6.0%
自己資本比率	29.5%	32.0%
ROE	▲1.3%	19.0%
D / E レシオ	1.2	1.1

(ご参考)

自己資本比率＝〔純資産(期末)－少数株主持分〕／総資産(期末)

ROE＝当期純損益／〔純資産(期末平均)－少数株主持分(期末平均)]

D/Eレシオ＝有利子負債残高(期末)／〔純資産(期末)－少数株主持分(期末)]



2. 2012年3月期(2011年度)

業績見通し



2011年度 業績見通しのポイント

■ 2010年度比 減収減益

不確定要素が多いものの、足元の情報に基づき2011年度業績を策定。

■ 事業環境

原油相場、為替相場や原材料価格の動向も先行き不透明感あり。

マイナス要因として、燃料価格上昇分▲18億円を織り込む。

■ 東日本大震災の影響

- ・サプライチェーンの寸断により、自動車、電子・電機等主要マーケットの今後の動向は極めて不透明。
- ・電力不足による電力供給制限が発生する場合、対象地域外にある拠点（福井工場、古河スカイ滋賀）を最大限活用。



2011年度業績見通し

(単位:億円)

	10年度 (A)		11年度見通し (B)			増減 (B) - (A)	
	上期	下期	上期	下期			
売上高	2,072	1,060	1,012	2,039	1,017	1,022	▲33
営業利益	123	71	52	105	60	45	▲18
経常利益	117	68	49	103	57	46	▲14
当期純利益	120	54	65	69	40	29	▲51

諸元 ; 原油(ドバイ) 115US\$/B, アルミ地金 240円/kg, 為替 85円/US\$

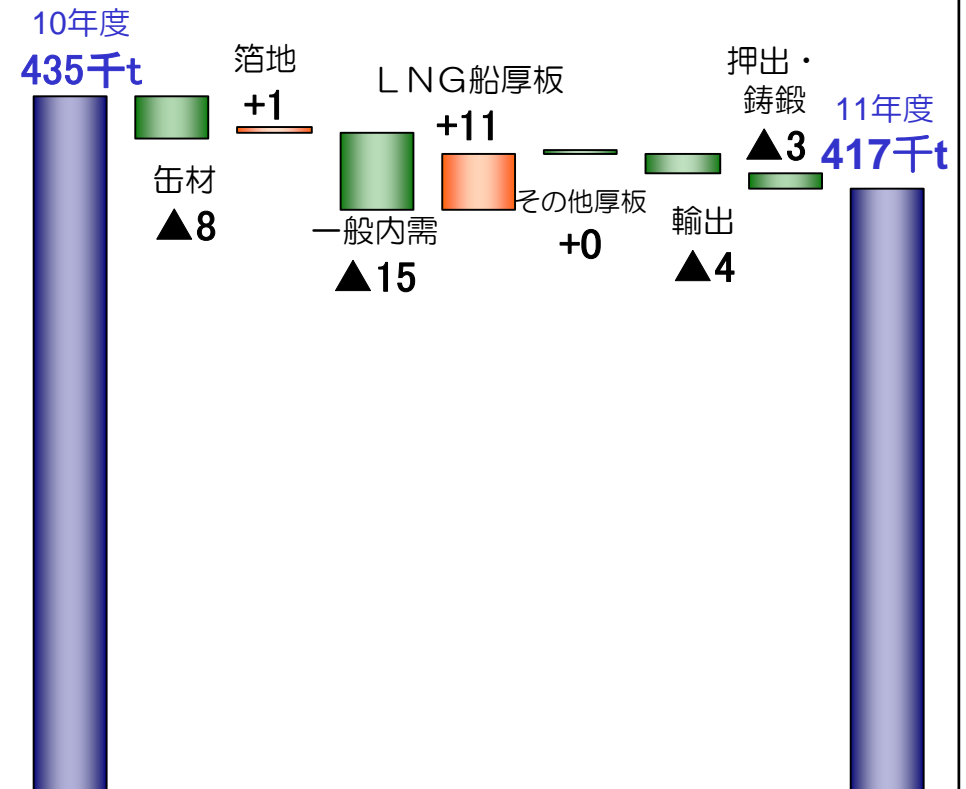


2011年度 品種別売上数量見通し(10年度→11年度)

(単位:千トン)

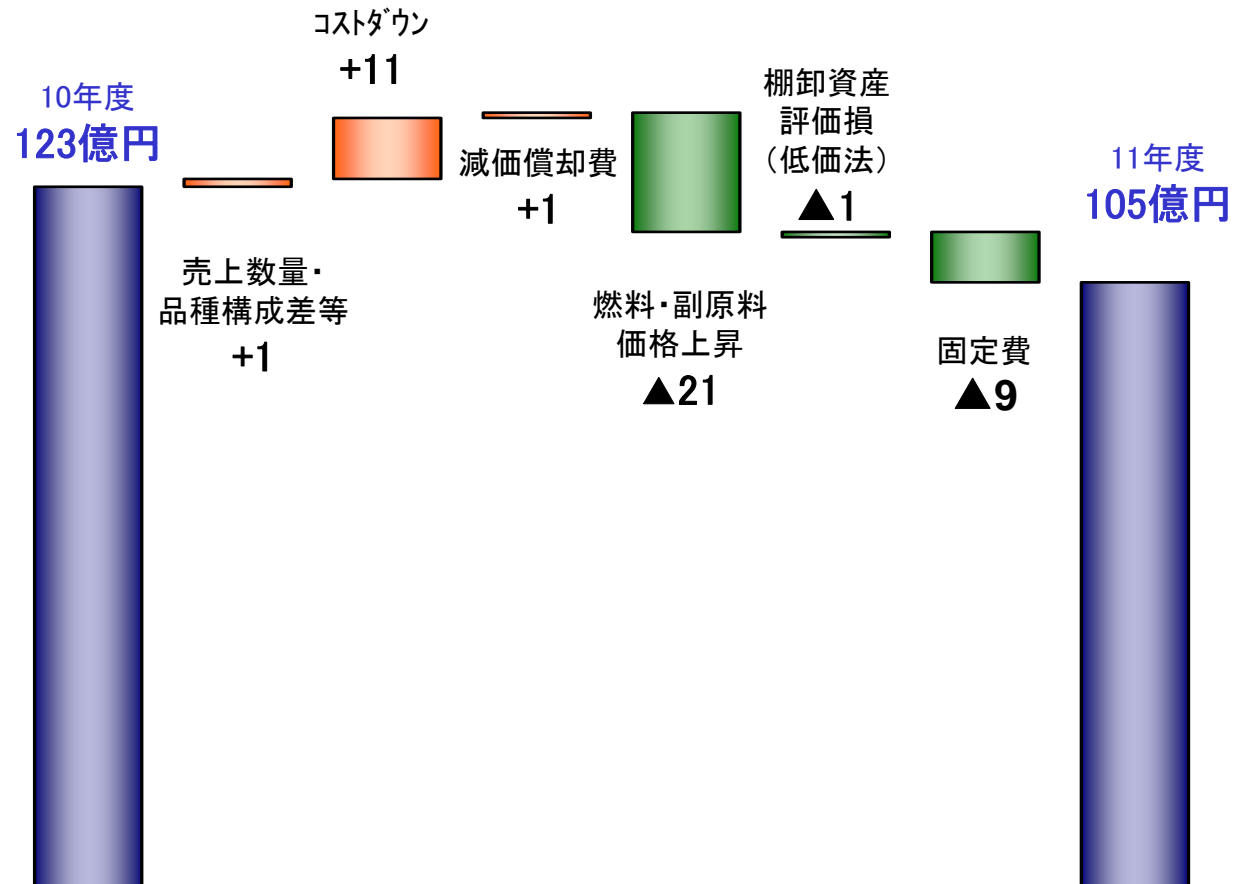
品 種		10年度	11年度	前期比 (%)	
板	缶 材	127	119	94	
	箔 地	36	37	103	
	一 般 内 需	124	109	88	
類	厚 板	L N G	0	11	—
		そ の 他	28	28	100
	輸 出	81	77	95	
計		395	381	96	
押 出 計		38	35	92	
鑄 鍛 計		2	2	100	
総 合 計		435	417	96	

10→11年度売上数量見通し増減内訳 (前年同期比▲18千t)



連結営業利益分析 (10年度→11年度見通し)

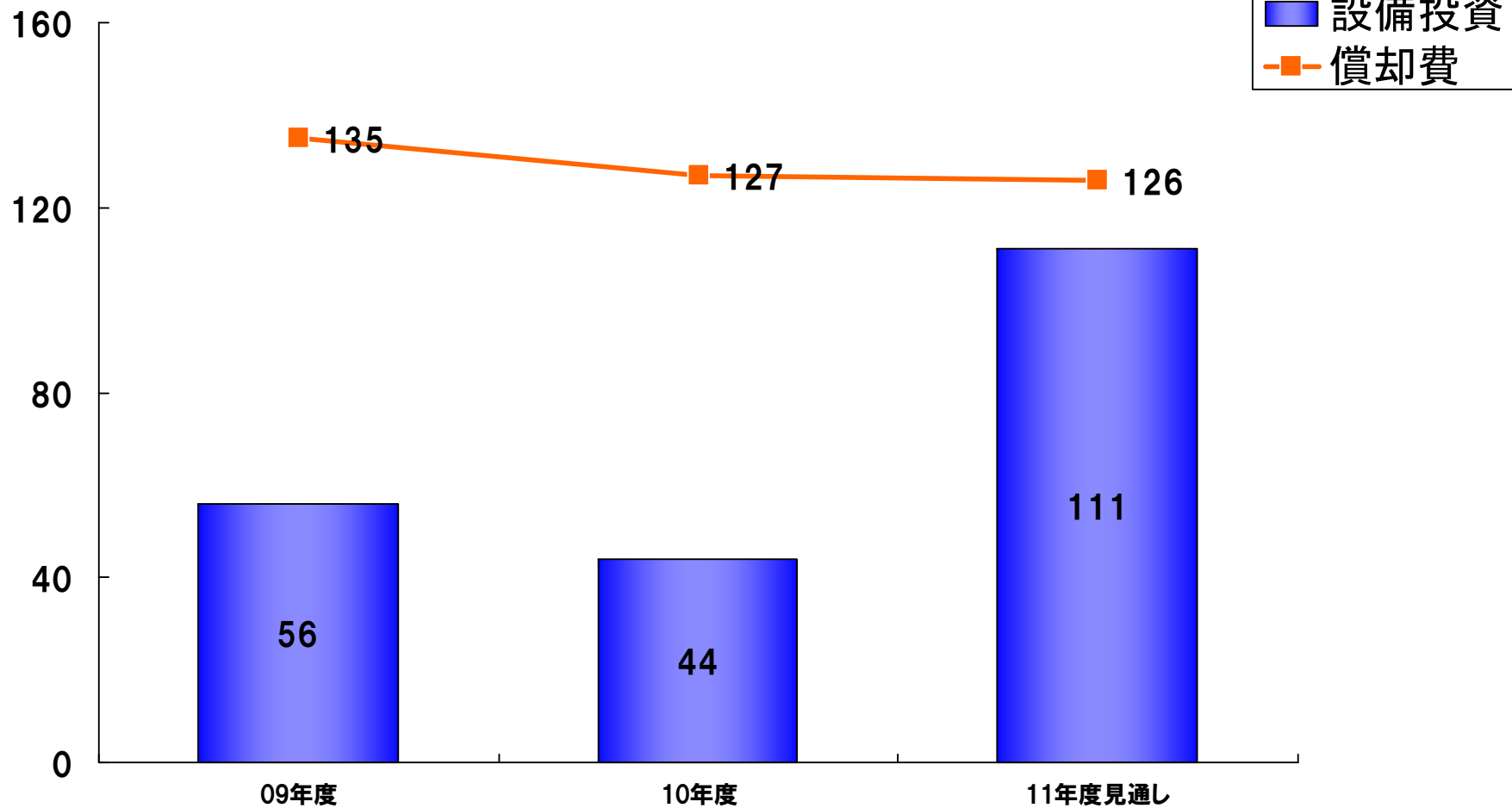
2010年度→2011年度連結営業利益予想 増減内訳 (対前年▲18億円)





設備投資・減価償却費 (09年度→11年度見通し)

単位・億円





3. 中期経営計画達成に向けて ～重点施策の進捗状況～



2012中期経営計画方針

国内

構造改革の推進、事業基盤強化

海外

海外成長市場への的確な対応

業容拡大に向けた事業基盤の強化
新たな飛躍への第一歩

成長製品、次世代製品強化

新製品開発



実施、進捗の状況(主な事業戦略)

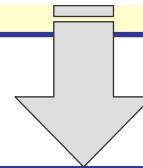
		2010年度	2011年度	2012年度
国内	構造改革	製板事業構造改革(日光上流工程休止) 評価材製作、顧客評価実施		上流工程休止
	基盤強化			福井工場 スラブ加熱炉増設 (熱間圧延能力増強)
海外	板	中国・乳源東陽光への技術供与	北米缶材拠点への出資 (トライ アローズ)	南米市場アプローチ検討
		タイSL会社設備導入 (FSTH タイ)	販売開始	
	押鋳鍛		コンプレッサーホイール生産能力増強 (FSV ベトナム)	中国、インドネシア押出工場生産能力増強 (FSAT, FIA)
	他	中国販社設立 (FSSH 上海)	販売開始	
新製品		<ul style="list-style-type: none"> 高放熱性ヒートシンク リチウムイオン電池ケース用合金素材 集電体正極用アルミ箔 	中国・広東東陽光との 電池箔事業検討	
	国際二次電池展出席		リチウムイオン電池:次世代集電体正極用アルミ箔、電池外装材用アルミ箔の開発 EV関連:構造製品、モーター部材	



国内事業の基盤強化

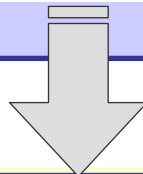
構造改革

- 板事業構造改革・・・日光工場の上流工程休止、福井、深谷圧延二工場最適生産体制
- 押出事業・・・最適生産体制の検討



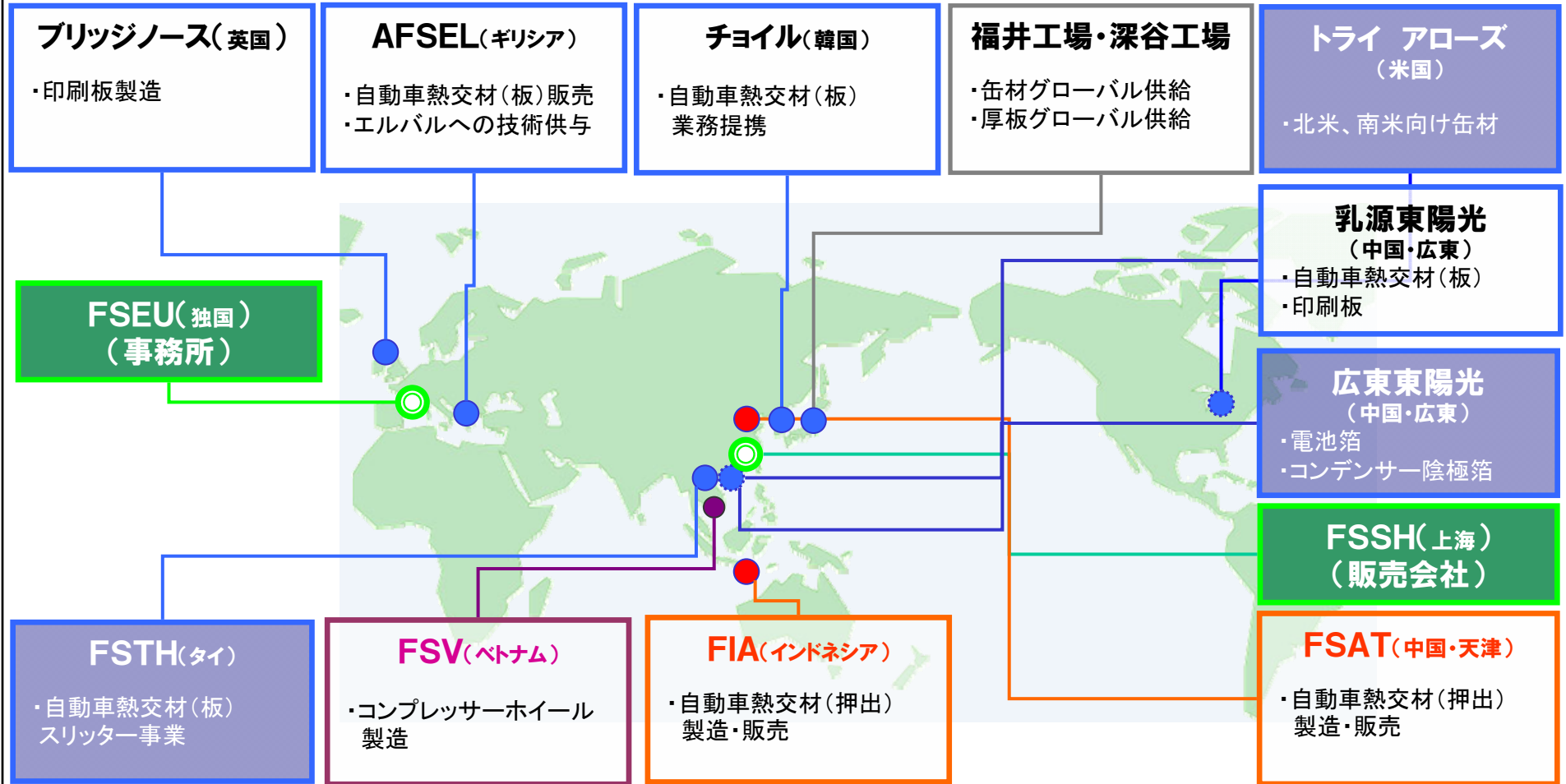
事業基盤強化

- 板基幹工場の競争力強化・・・福井工場へのスラブ加熱炉増設(増産、コストダウン)
- 合理化、省人化投資の推進・・・固定費削減、コスト競争力強化



利益体質を強化し、新たな成長戦略への投資

海外市場への対応(グローバル拠点)

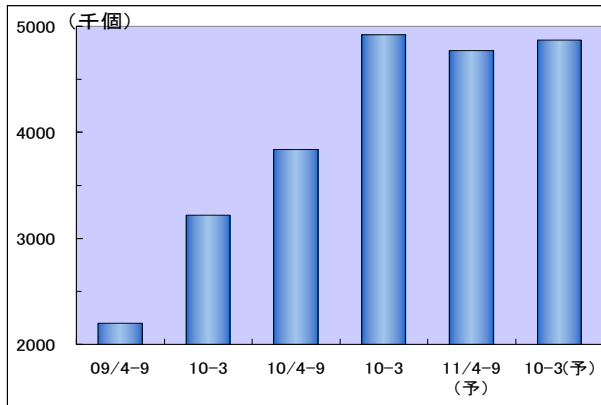


- 板事業の拠点を強化・・・タイ(自動車熱交スリッター事業)、北米(缶材)
- 電池用箔事業の海外展開・・・中国・広東東陽光との共同事業検討
- 営業拠点、マーケティング機能の強化・・・中国販売会社、欧州事務所

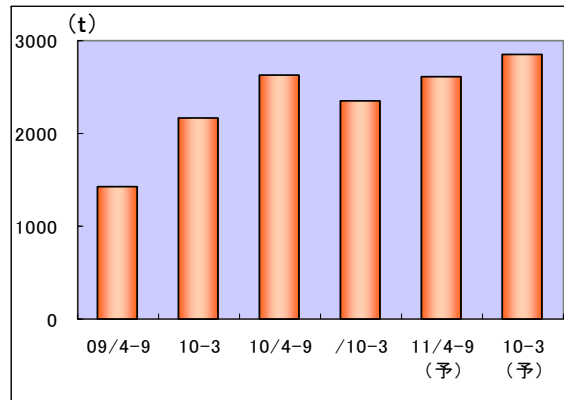
- 板事業
- 押出事業
- 鋳鍛事業
- ◎ 営業・マーケティング拠点

海外事業拠点の状況 (売上数量の推移)

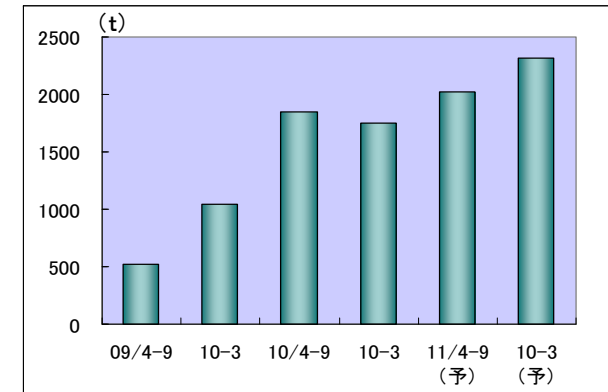
Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc.
 (ベトナム) 【子会社】
 ターボチャージャー用コンプレッサーホイール



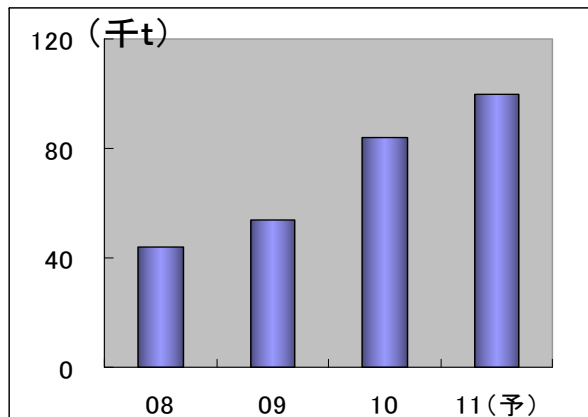
PT.Furukawa Indal Aluminum
 (インドネシア) 【子会社】
 自動車熱交換器用押出材



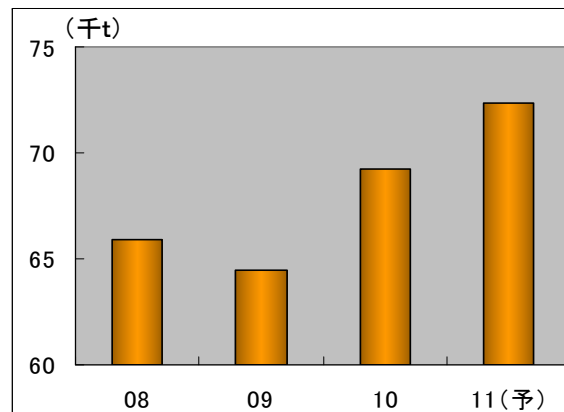
古河(天津)精密鋁業有限公司
 (中国) 【子会社】
 自動車熱交換器用押出材



乳源東陽光精箔有限公司
 (中国) 【持分法適用会社】
 自動車熱交換器用板材



Bridgnorth Aluminium Ltd.
 (イギリス) 【持分法適用会社】
 印刷板



【子会社】

各拠点とも増収増益基調

FSV・・・需要増で増産投資中

FIA, FSAT・・・需要増に応じ投資を計画

【持分法適用会社】

投資実施後、増収増益基調

成長市場に対応する新規投資等で

更に利益増の見通し

海外売上高比率

中国・乳源東陽光
への資本参加

タイにSL会社設立

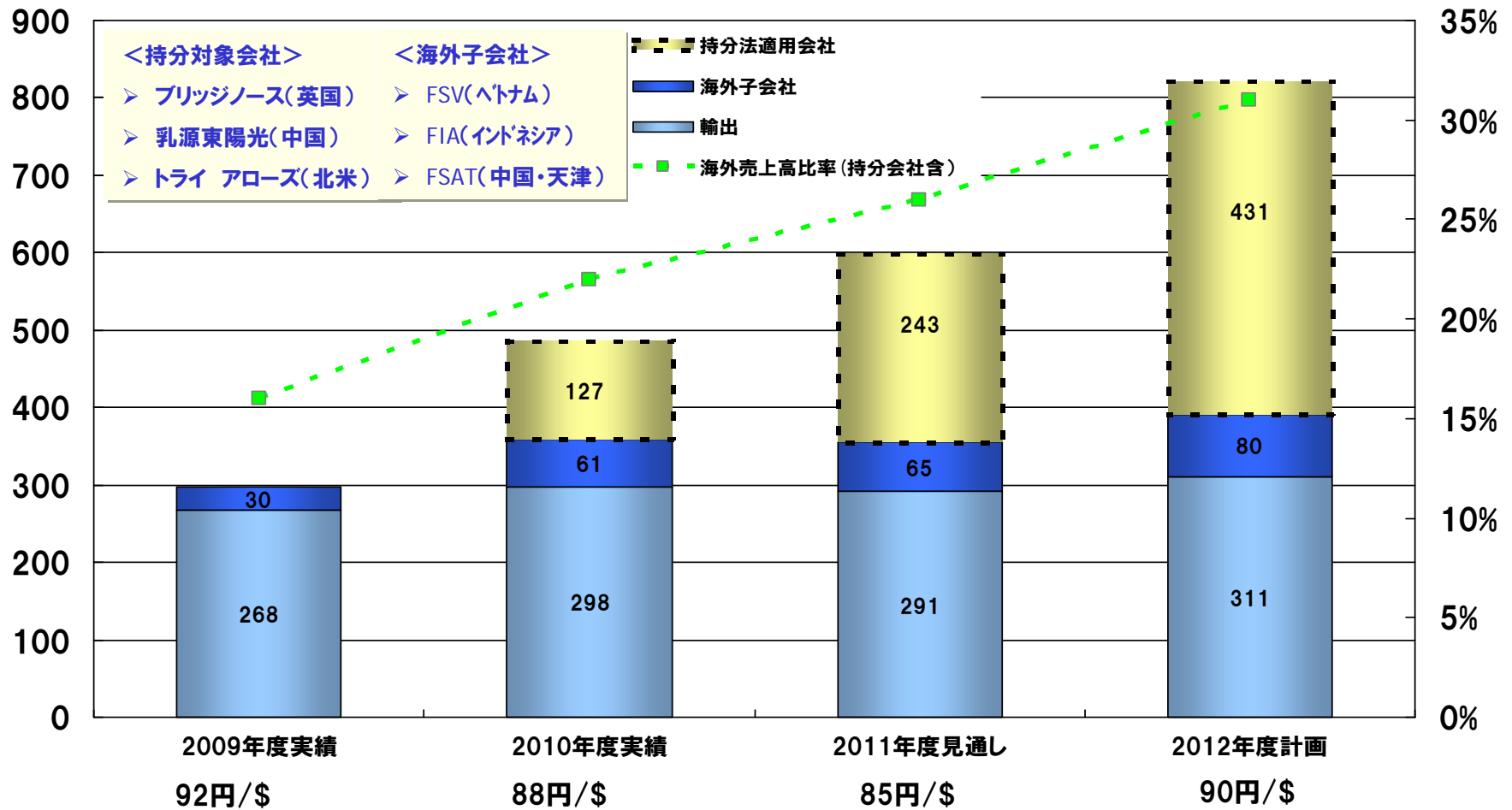
中国・乳源東陽光への
技術援助本格化

中国販売会社設立

北米缶材拠点への出資

既存拠点の増強検討
(押出子会社: 中国・天津、インドネシア
コンプレッサーホイール製造: ベトナム)

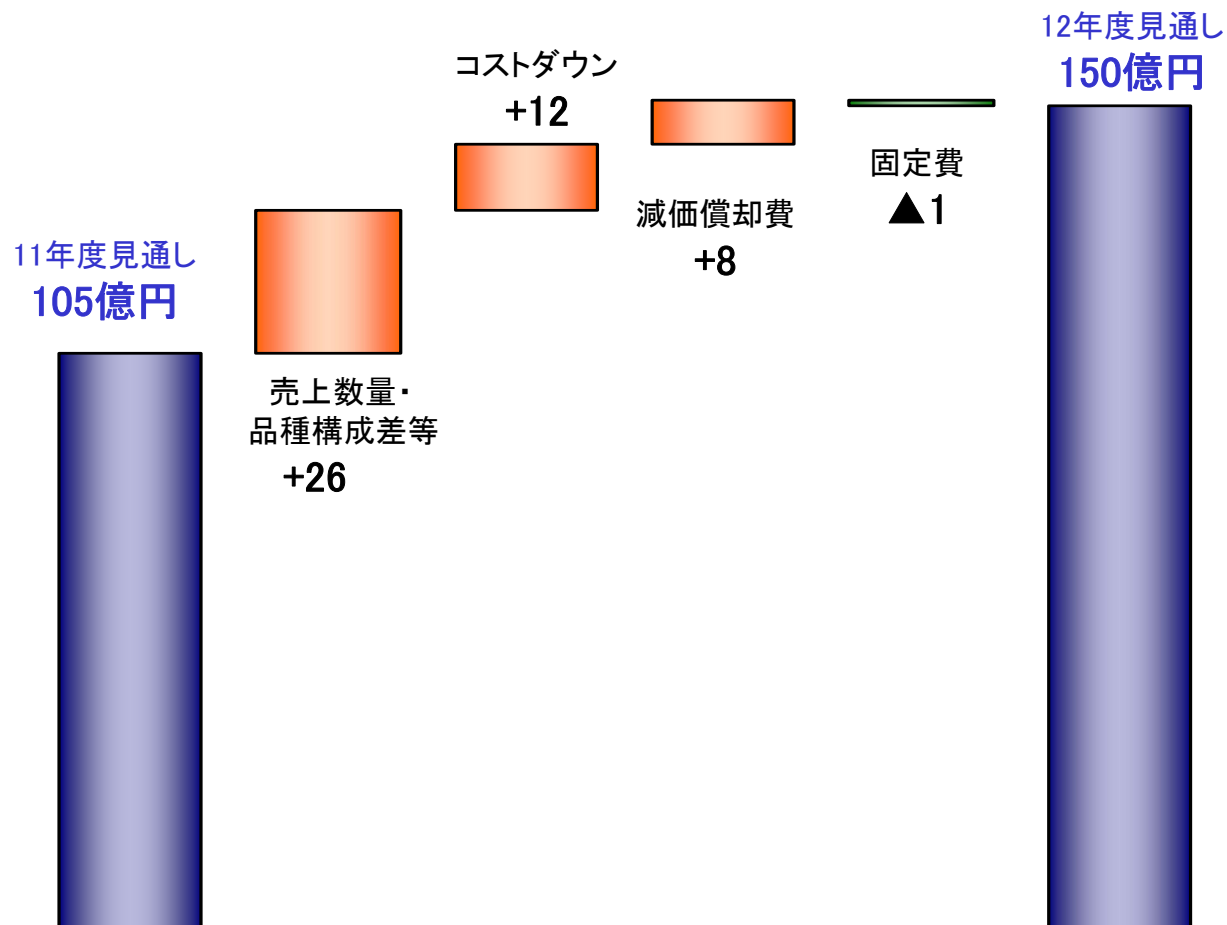
単位: 億円





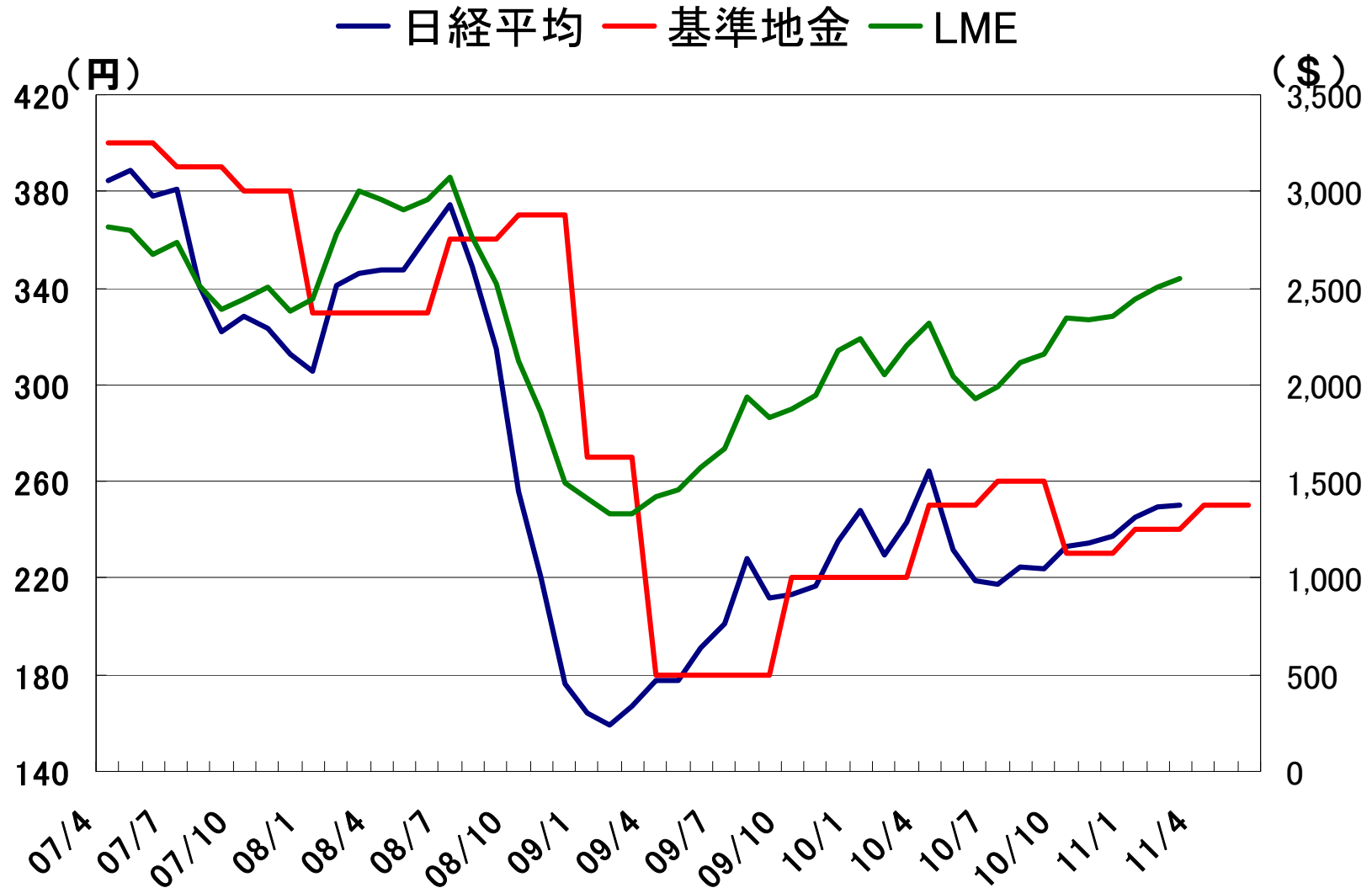
中期経営計画の見通し(連結営業利益)

2011年度→2012年度連結営業利益見通し 増減内訳 (+45億円)



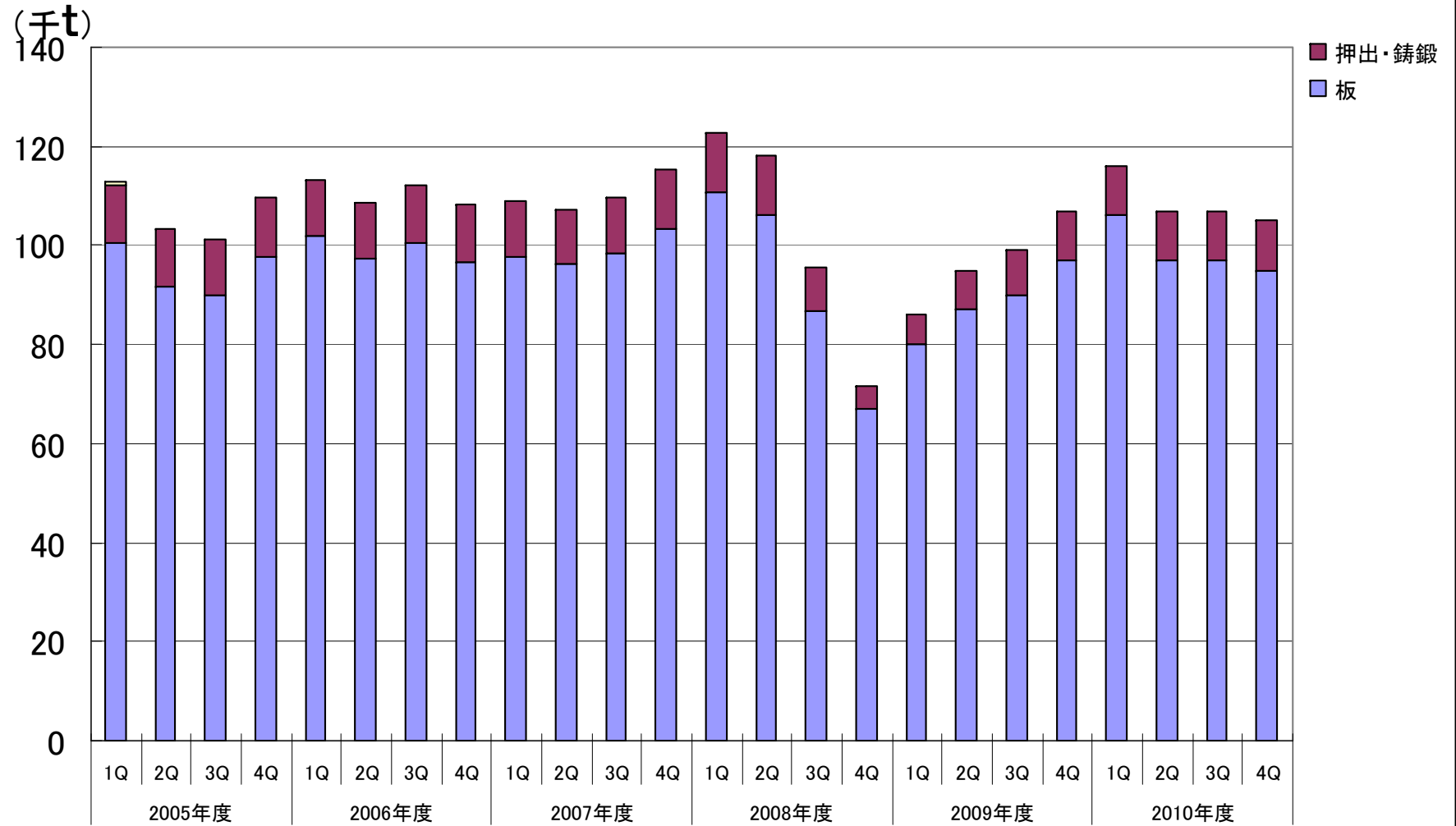
参考資料

アルミ地金日経平均、基準地金、LME推移



参考資料

数量推移 (2005年度～2010年度)





■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3800 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)